ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1（STA.No.23CL）	調査位置				北　緯	36 ° 34 ’ 49.0000 ”
発 注 機 関	栃木県真岡土木事務所 整備部整備第一課			調査期間	2010-08-27 ～ 2010-08-30	東　経	140 ° 00 ’ 13.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	122.66 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	9.45 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2 3 4 5	117.26	5.40	5.40		盛土(礫混じりシルト)(BS)	褐灰～黒褐		軟い	[0.70]礫混じり粘土が主体である [1.20]0～0.60m間はローム [2.00]0.60m以深は黒ボクが主体で，φ20～40mmの亜円礫や軽石・腐植物が混入 [3.00]含水量は全体にやや少ない [3.50]3.70m付近に大谷石，4.75m付近に塩ビパイプ片混入 [4.50]4.80～5.40m間は軽石(今市軽石)主体でロームが混入する		08/27 4.78
6	116.16	1.10	6.50		シルト(M)	黒褐		中位	含水量は少ない，粘性やや小さい 有機質に富み腐植臭あり		
7	115.86	0.30	6.80		シルト質砂礫(GSM)	淡青灰	緩い	軟い	φ20～30mm程度の円・亜円礫が主体 礫間はシルトと粗砂にて充填		
	115.56	0.30	7.10		礫混じり粘土(CH-G)	褐			ローム質な粘土主体で φ10～30mmの礫が混じる		
8 9	113.21	2.35	9.45		粘土混じり砂礫(GS-C)	灰褐	中ぐらい		φ20～40mmの円・亜円礫が主体 礫間は粘土と粒径不均一な砂にて充填されている 礫は風化し脆く砕け易い 7.0m付近より若干の逃水あり 全体に孔壁の自立性は高い		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／17	1／13		2／30	2
1.45					
2.15	1／20	1／12		2／32	2
2.47					
3.15	1／16	1／11	1／8	3／35	3
3.50					
4.15	1／20	1／11		2／31	2
4.46					
5.15	1／44			1／44	1
5.59					
6.15	1／7	1／9	2／14	4／30	4
6.45					
7.15	6	7	6	19／30	19
7.45					
8.15	8	12	17	37／30	37
8.45					
9.15	8	9	9	26／30	26
9.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				08/27
				08/30